

人口減少対策に関する再提言

区 分		再 提 言
土地利用	空家（中古住宅）の斡旋	・空家利活用可否調査を行い、その情報に基づき中古住宅の販売や賃貸の情報提供を行う。
	積極的な企業誘致	・働く職場があれば若者が定住できるため、積極的に企業誘致を推進する。
		・総合計画土地利用構想図にある工業系の地域（天引・金井・善慶寺）に企業誘致を推進し、引き続き、県企業局に対し、甘楽第二・第三産業団地の早期の造成を要請する。
	住宅団地の造成	・災害に強い地域をPRし、東京都北区など各方面に働きかける。
・住宅団地の分譲は人口増加の特効薬であり、土地開発公社の分譲と民間開発を推進する。 ・農業振興地域の見直しについて県農政部門に対して、継続し要請していく。		
交 通	通学路の整備	・統合中学への通学経路については防犯上の懸念があり、引き続き防犯カメラを増設して犯罪抑制を図る。
		・小学校は通学路の指定がされているが、危険回避のため常に点検し交通規制や歩道整備の検討を行うとともにボランティアによる見守り隊の活動を推進する。
健康づくり	健康づくり対策	・ウォーキング推奨コースを各地区に設定し、適宜ベンチ等を設置する。
		・全町にラジオ体操等の準備運動を推進し、健康に努める。 ・県林業事務所により水源の森コースを整備促進し、森林セラピー指導者の養成に努め、コースによりウッドチップを活用する。稲含山コースをはじめ、安全対策を強化する。
農 業	福祉・医療の充実	・福祉医療対象者を身体障害者手帳3級該当者までとする。 ・買い物ボランティア等で、高齢者世帯等からの要請に基づき自宅への配達を行うとともに、安否確認等を行ってもらえるような団体への支援をする。
	農産物の6次産業化・ブランド化	・JAや商工会等との新ブランド商品の掘り起こしに対する研究会の開催や、かんらブランド商品の町外における物販等のイベントへの出店者に対する積極的な情報提供等の協力を行う。
	新規就農者の支援	・JA等と協力し、新規就農者が取組み易い作物や加工品の掘り起こしを研究する。
商工業	新農特産物の開発	・新農産物の開発を推進する。
		商工業の支援
教 育	学校教育	・小中学校の全学年の30人学級制に積極的に取り組んでいく。
	学校給食の充実	・学校給食費の第2子以降に対する補助金支給や無料化を行う。 ・地産食品をより多く使用して、安全安心の給食の充実を図る。
子育て支援	子育てが誇れるまちづくり	・新保育園児・新幼稚園児・新小学生・新中学生への入園（学）時における経費への助成を行う。
		・共働きやひとり親世帯に対する支援のため「認定こども園」の早期開設を行う。
		・町内在住男性で保育士資格取得希望者に対する助成を行う。
		・育児休暇中（含む、0歳児）でも保育サービスを受けられるようにする。

人口減少対策に関する再提言《国・県への要望》

区 分		再 提 言
土地利用	254号バイパス両側農地の商業化（道の駅等）	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画では、R254バイパス沿線の概ね100mの区域と、R254バイパスから小川塩畑堂沿線、概ね30mの区域を商業用地として整備を図る計画ですから、農業振興地域の除外を県と国に申請して民間開発が可能な地区にする。 ・この地区に「道の駅」を設置する意見があり、大型店の進出等の開発状況を勘案しながら「道の駅」を推進する。
	農地付宅地の販売または貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・農地を取得するには50アール以上の耕作地が必要だが、10アールでも取得ができるよう特例を設ける。（農業委員会で決定できなければ県や国に申請する）
	林業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・甘楽富岡地区に木材チップによる発電所の設置を要望し、産業として衰退している林業の雇用の創出と山林保全を推進する。
交 通	スマートインターの早期開設	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）甘楽PAスマートICについては、引き続き工期の短縮による早期の接続を目指し要望する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・スマートICの開通も予定されていることから、比較的災害の少ない甘楽町をPRし、国や県の災害備蓄倉庫の誘致を要望する。